

誘致圏分析を用いた利用者需要に基づく農業体験農園の立地選定に関する研究

横山祐宜¹⁾、藤田直子²⁾

1) 九州大学大学院芸術工学府

2) 九州大学大学院芸術工学研究院

近年、ライフスタイルの多様化に伴い都市住民の農への関心が高まっている。一方で農家人口の減少や高齢化は深刻であり、耕作放棄地や遊休農地の増加も問題となっている。その緩和策の一つとして、農業体験農園が注目され始めている。本研究では、ネットワーク解析により体験農園候補地に対する到達圏と誘致圏を割り出し、候補地の立地選定を行った。解析の際、並行して実施した利用者需要の結果に基づく複数の移動手段と所要時間を用いた。